



ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：
 市内永田町一―100 市広報広聴課
 電話一〇三三 内線二八三三
 締め切りは毎月十五日です。

市長への
手紙から

広くなりませんか 岩本山公園の駐車場

このコーナーは「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、市政モニターの中村律子さん（吉原五）の「岩本山公園の駐車場の拡張」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります。）

〈市長への手紙〉

我が家では岩本山公園をよく利用しています。岩本山公園は駿河湾から富士山まで一望できる上に花見もでき、芝生広場ではキャッチボールや芝滑りなど、いろいろに楽しめます。最近トイレもきれいになり、とてもよい公園と思います。ただ、駐車場が狭いのが残念



中村律子さん

来年度は二百台が可能に

〈市長の答え〉

市長への手紙ありがとうございます。岩本山公園は、近年整備が進んだので、利用者が激増し、四季を通じてよく利用される公園になってきました。そのため、中村さん



整備された岩本山公園の駐車場

です。休日の昼ごろとなれば、車が駐車場からあふれ、道路は路上駐車の状態になってしまっています。そのため、身動きできなくなるのはもちろん、路上の車の陰から子供が飛び出したりしないかと心配になります。駐車場を広くすることはできないのでしょうか。

そこで、昭和六十三年度に駐車場として、公園入口東側の土地六千平方メートルを確保しました。来年度には百六十台が駐車可能な駐車場として整備する予定です。

また、現在ある駐車場も使いやすくするため、アスファルト舗装し、四十台が駐車できるようにしました。

そのほかに、入口西側に大型バス五台分の駐車場も整備します。全部整備されると、大型バス五台、乗用車二百台の駐車場になります。

市民文芸第25号小説の部
で市民文芸賞を受賞

和田濱雄さん

(今泉9・66歳)



時は移り、日本が戦争をしていた時代があつたとは信じがたくなつてきた平和な現代。和田さんは「かわいい孫たちには、自分の様な思いをさせたくない」と、時間をつくつては戦争の悲惨さをつづり始めました。

そして、二部作ともいえる「出陣の記」で一昨年は奨励賞、昨年

は「初陣の記」で努力賞を受賞し、こころは「帰国の記」で見事市民文芸賞に輝きました。

作品では、自分の戦争体験と戦死した兄や友人の思い出などを表現しました。「戦争は醜悪のるつぼで、狂気の世界」と語る言葉には重みがあります。

もともとは、製紙の排水処理技術者だったせいかわ、データを蓄積し、時間をかけてこつこつ書くタイプ。また、書き出すと熱中し、夜中に寝言で戦争体験をどなり、奥さんの方からさんが飛び起きたという逸話も。スピードを競う時代に、みずから「重戦車」と言う個性派です。

